

令和7年8月26日

在宅医療関係者 様

鹿児島市在宅医会

会長 五反田 満幸

鹿児島市在宅医会事例検討会の開催について（ご案内）

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

鹿児島市在宅医会では、会員並びに多職種・多施設の連携と協力を深め、地域のより良い在宅医療支援体制を構築することを目的に、事例検討会を開催いたしております。

今回は、別紙の内容にて事例発表を行いますので、参加をご希望の方は、別紙により9月24日（水）までにFAXまたはメールにてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

記

< 第2回鹿児島市在宅医会事例検討会 >

日 時 令和7年9月25日（木）19時～20時30分

場 所 鹿児島市医師会館 3階大会議室（加治屋町3番10号）

対 象 鹿児島市在宅医会 会員、その他在宅医療関係者

申込方法 別紙にご記入のうえ市医師会事務局までFAX（225-6099）またはE-mail（kasii-tii@city.kagoshima.med.or.jp）にてお申込みください。

締 切 日 令和7年9月24日（水）

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

【問合せ先】鹿児島市医師会地域医療課（担当 原田・瀬戸） TEL：226-3737

FAX：225-6099／E-mail：kasii-tii@city.kagoshima.med.or.jp

第2回鹿児島市在宅医会事例検討会

日 時 令和7年9月25日（木）19時～20時30分
場 所 鹿児島市医師会館 3階大会議室（加治屋町3番10号）
対 象 鹿児島市在宅医会 会員、その他在宅医療関係者

< 次 第 >

テーマ「在宅現場での褥瘡治療について」

1. 在宅現場でのラップ療法について
【症例1】 梶 正 行 氏（ナカノ訪問看護ステーション 看護師）
【症例2】 野口ゆかり 氏（ナカノ訪問看護ステーション 看護師）
【講 演】 「何故、ラップ療法で褥瘡が治るのか？」
中野 一司 先生（ナカノ在宅医療クリニック院長）
2. 外部主治医とナカノ訪問看護ステーションとの連携で、褥瘡治療がうまくいった症例
【症例提示】 上山 教夫 先生（上山クリニック 院長）
【講 演】 「外部主治医と訪問看護ステーションの連携について」
末松 弥生 氏（ナカノ訪問看護ステーション 皮膚・排泄ケア認定看護師）
3. 総合討論

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

《問合せ先》 鹿児島市医師会地域医療課（担当 原田・瀬戸） TEL：226-3737 FAX：225-6099

.....

第2回鹿児島市在宅医会事例検討会 <9月25日 申し込み用紙>

医療施設・事業所名： _____

お名前		職種
1		
2		
3		
4		
5		

※参加を希望される方は9月24日（水）までに市医師会事務局までお申込みください

《送付先》

FAX:225-6099

E-mail: kasii-tii@city.kagoshima.med.or.jp